

# 令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-16	所管部	建設部	作成責任者	土木局河川砂防課砂防災害担当課長 吉田 安範
				担当係	砂防係（内）29-401

## I 基本事項（基準日時点）

事業種別	総合流域防災事業費（社会資本整備総合交付金）				
地区名	ふりがな みなみかやべかくみ 南茅部川汲4	市町村名	函館市	総事業費	1,700 百万円
負担割合	国	道	市町村	-	その他 -
	45.0%	55.0%	-	-	-
	765 百万円	935 百万円	-	-	-

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、急傾斜地崩壊防止施設の整備を行う。</li> <li>●土留柵工・吹付法枠工の整備を行い、人家や要配慮者利用施設などを土砂災害から守ることを目的とする。</li> </ul>				
	【アウトカム】等				
	●土砂災害により被災するおそれのある家屋数	65戸	→	0戸	
	●土砂災害により被災するおそれのある要配慮者利用施設	1軒	→	0軒	

事業概要	南茅部川汲4急傾斜地崩壊対策事業は、人家や要配慮者利用施設などの保全対象を守るため、急傾斜地崩壊防止施設（土留柵工、吹付法枠工）の整備を行うものである。	工事費内訳	【計画】土留柵工、吹付法枠工			
			土留柵工	ΣL=980m（区間延長） ΣL=2964m（施工延長）	(百万円) 前回評価 815	(百万円) 今回評価 1,500
		吹付法枠工	ΣL=40m（区間延長） ΣA=432㎡（施工面積）	10	10	0
		測量設計費		145	180	35
		用地補償費		10	10	0
				980	1,700	720

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安全	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P26】 （砂防施設等の整備） 土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所など土砂災害の恐れのある箇所について、近年の災害発生状況や保全対象などを勘案し、砂防設備や急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設等の設備を推進する。
	関連する指標	土砂災害から保全される人家戸数 約2.5万戸（2018） → 約2.7万戸（2022）

## II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H29(2017)	H31(2019)	H40(2028)			980	539			
前回再評価											
今回評価	H29(2017)	R5(2023)	R4(2022)	R15(2033)	5	1,700	935	22	157	9%	

変更理由・内容（概要）	(1)現地調査結果による土留柵工の杭規格変更に伴う増額 (2)大口径ボーリング工の積算基準の改定による増額 (3)事業損失防止のための家屋調査・振動騒音調査を増工したことによる増額 (4)単価・消費税率の変更
-------------	---

## III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当該箇所は、崩壊性の高い脆弱で不安定な土塊を有する急傾斜地である。</li> <li>● 人家や要配慮者利用施設、国道などがあり、急傾斜地崩壊防止施設の整備が必要である。</li> </ul>
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● H27年（2015年）6月 南茅部川汲町からの整備要望。</li> <li>● H29年（2017年）4月 南茅部川汲4急傾斜地崩壊対策事業に着手。</li> </ul>
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 函館市川汲町4地区（旧南茅部川汲4） 被害想定区域内における人家67戸 → 65戸、要配慮者利用施設0軒 → 1軒</li> </ul>

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

#### IV 事業の実施状況

1.進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画											進捗状況	事業費 (百万円)			
	施工 (工種) 区分	工事内容	H29	H30	R1	R2	～	R4	R5	R6	R7			～	R15	
	土留柵工	L=2964m									L=2964m					
	吹付法枠工	ΣL=40m, ΣA=432㎡									L=40m					
	測量設計費	調査・設計	←													
用地費及補償費	立木補償															

(2) 進捗状況

- 現地調査時に確認された取水施設の取り扱いについて説明に期間を要したこと及び残事業費による精査により、事業期間の見直しを行っているが、令和5年度(2023)から本工事を着手し、令和15年度(2033)までに完成の見込みである。
- 令和4年(2022)、本工事着手のための急傾斜地崩壊危険区域の申請を実施。

**b** a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2.事業効果	経済効果の内訳 (百万円)		費用の内訳 (百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	被害軽減効果	5,327	事業費	1,245	
			維持管理費	4	
	合計 (B)	5,327	合計 (C)	1,249	
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【事業採択】 前回算定時B/C : 3.11 変更理由 :				
R4現在	・事業費の増額に伴う費用の増加 ・「治水経済調査マニュアル(案)」、「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」の改訂に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加				
4.26					

3.コスト削減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額 (百万円)
	施工方法の最適化	土留柵工の小口止をコンクリートから植生土のうにすることによるコスト削減	0.40

#### V 評価

1.必要性

- 本事業は、南茅部川汲4の土砂災害被害を防止するためのものである。
- 崩壊性の高い脆弱で不安定な土塊を有する急傾斜地であり、事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。

**a** a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。  
b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。  
c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

(1) 環境上の配慮及び課題

- 対策施設の配置により既存植生が失われることを最小限にとどめるため、植生の保全や早期回復に有効な土留柵工を採用する。

(2) 事業推進に対する住民の動向

- 事業採択前から継続して、地域住民及び函館市より事業推進を要望されている。
- 現地説明会を実施し、地元住民への周知が成されている。

(3) その他の課題

- 湧水を使用している住民に対し、補償を実施できないことについて説明に期間を要したが、了承済みである。
- 今後の事業に影響を及ぼすような課題は特にない。

3.事業達成の見込み

事業計画に影響を与えるような状況変化や事業推進に影響を与える重大な懸念事項がないことから、事業目的の達成が見込まれる。

**a** a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。  
c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4.対処方針

事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和15年度(2033年度)の完成を目指し、事業を継続する。

**a** a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止

事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有
-----------	---	-----------	---	-----------	---

**VI 備考**

1. 評価履歴	<b>【評価結果】</b> 事前評価：平成29年度実施 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：3.11 再評価：年度実施 評価結果
	<b>【特記事項】</b>
2. その他の取組事項	

**補足資料**

**VII 事業計画変更**

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H29 (2017)	H31 (2019)			H40 (2028)	5	980			
変更①		H29 (2017)	R3 (2021)		R2 (2020)			1,542			
変更②	1回目		R5 (2023)	R4 (2022)	R4 (2022)	R15 (2033)		1,700	22	157	9%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	変更①：事業費の増 ・詳細な地質調査を実施した結果、土留柵工の杭規格を変更したことによる増 ・大口径ボーリング工の積算基準の改定による増  変更②：事業費の増 ・事業期間の延伸に伴い、事業損失防止のための家屋調査・振動騒音調査を増工したことによる増 ・資材、労務単価等の上昇や消費税率の変更による増 事業期間の変更 ・補償協議等に期間を要したことによる延伸 ・残事業費により、施工期間を精査したことによる延伸										

## 南茅部川汲4 総合流域防災事業費（社会資本整備総合交付金）



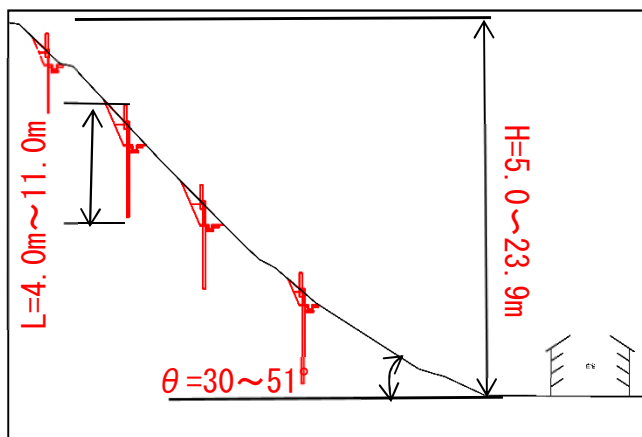
### 事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、急傾斜地崩壊防止施設の整備を行う。
- 土留柵工・吹付法栓工などの整備を行い、人家や要配慮者利用施設などを土砂災害から守ることを目的とする。

### 事業概要

- 南茅部川汲4急傾斜地崩壊対策事業は、人家や要配慮者利用施設などの保全対象を守るため、急傾斜地崩壊防止施設（土留柵工、吹付法栓工）の整備を行うものである。

土留柵工 断面図



吹付法栓工 断面図

